

ぼくのはじめての山のぼり

三蔵子小・1 おだり
りようや

ぼくは

本ぐう山にのぼった

一かい目は

十八ちよう目でかえった

八月十四日

二かい目のちようせんだ

わくわく

のぼりきつたら

えをかきたいな

パパとおにいちゃんどぼく

三人でちよう上を目ざした

うれしかった

三十七ちよう目で

おにぎりをたべた

おなががすいて

あむあむとたべた

パパのおにぎりは

かばんの中で

ぺっちゃんこになって

せんべいになっていた

それからまた

あるき出した

三十九ちよう目ぐらいで

しんぞうがどきどきしてきて

足はめっちゃんとおもかった

それでもぼくは

ちよう上までいきたかった

水とうにむぎちやが入っていたけど

しゅわしゅわの

たんさんジュースをのみたかった

木や石のみちは

アスレチックみたいだった

四十三ちよう目あたりで

ぼくはつかれてすわりこんだ

あとすこし

あとすこし

ここをのぼらないと

ちよう上につかないぞ

はあはあとつかれていた

だけど

ぼくはがんばってのぼりきつた

ぼくの大すきなたんさんジュースが

うっていなかった

かなしかった

きつと

たんさんジュースがのみたい人もいるから

じはんきに入れてほしい

ぼくは三じかんでのぼり

二じかんはんでおりてきた

その日による

足がしびれるようにいたくなっていなかった

つぎは

ちがう山にのぼりたい